

1 単元名 きょう土を開く

2 目標

八木地区の人々の困窮した生活の改善のため、八木干拓に尽力した羽成卯兵衛の働きに関心を持ち、それらについて写真や副読本などの資料を使って調べ、先人の働きや苦心によって地域の人々の生活が向上してきたことについて考えることができる。

3 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
霞ヶ浦沿いの八木地区の人々の困窮した生活を改善したいと考え、私財を投げうって八木干拓を行った羽成卯兵衛の働きに関心を持ち、それを意欲的に調べようとしている。	八木干拓を行った羽成卯兵衛の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに八木干拓における苦心や努力を、人々の願いや生活の向上と関連付けて考え適切に表現している。	写真や地図・副読本の記述から、地域の発展に尽くした羽成卯兵衛の働きについて必要な情報を集め、読み取り、紙芝居にまとめている。	霞ヶ浦沿いの八木地区の人々の困窮した生活の改善を願い、八木干拓を行った羽成卯兵衛たちの働きや苦心や努力を理解している。

4 単元について

(1) 教材観

本単元では、霞ヶ浦沿いの八木地区の人々の困窮した生活を改善したいと考え、私財を投げうって八木地区の干拓を行った羽成卯兵衛の働きについて、副読本などの資料を活用して調べ、先人の働きや苦心を具体的に考えることをねらいとしている。

「3年に一度まともな米がとれればいい」といわれた八木地区の人々の生活や、苦勞して打ち込んだ杭がほとんど倒れてしまい工事費用が膨れ上がってしまったことなどを調べる学習を通して、先人たちの努力が地域の生活を改善してきた事実をとらえる学習を展開する。

(2) 児童の実態 (児童数 29人)

本単元の学習に関する実態調査 (児童数 29人)

○ 石岡の人々の生活をよくするためにがんばった昔の人の名前を誰か知っていますか。 ・知っている。 0人 ・知らない。 29人
○ 羽成卯兵衛さんを知っていますか。また、何をした人か知っていますか。 ・知らない。 19人 ・名前は聞いたことがある。 10人 ・何をした人か知っている。 0人
○ 羽成卯兵衛さんは、霞ヶ浦の一部を埋め立てて田を作りましたが、それは何のためだと思いますか。 ・作った土地を売り、商売を進めるため。 0人 ・困っている人を助けるため。 15人 ・その他 1人 (お金がない貧しい人を助けるため。) ・分からない。 13人

南小学区は南台という大きな新興住宅地を抱えているため、他の地域から移転してきた児童も多く、親の世代でも羽成卯兵衛のことを含め地域の歴史を知らない人が多いと推測でき、実態調査の結果には、そうした事情が反映されていると考える。それでも羽成卯兵衛の名前を聞いたことがあるという児童が10名おり、地域の歴史として羽成卯兵衛の名前が語り継がれている可能性がうかがえる。

本校では昨年まで算数の学習を通して表現力の育成に取り組んできた。児童は自分の考えをノートに表現したり、進んで話し合おうとしたりする態度が育ってきている。しかし、まだまだ個人差は大きく、自分の考えに自信がもてず表現することを躊躇する場面も多く見られる。

### (3) 指導観

今、日本の経済は長い停滞の中にあるものの、現代の貧困は表に見えにくく、子どもたちの目に映るのは尚も物質的に豊かであり続ける世界である。3年生で昔の人々の暮らしについて学び、子どもたちは生活の様子に変化してきたことを知った。しかし、それは絶え間ない人々の努力の結果であり、その続きに今があること、そしてこれからも、この時代に生きる私たち一人一人が社会を支えていく努力が必要であることを学んでいく必要がある。

ここでは私財を投げうって八木干拓を推し進めた羽成卯兵衛に焦点を当て、先人の努力や工夫・苦勞を学んでいくが、羽成卯兵衛という偉人が八木干拓のすべてを行ってきたわけではない。卯兵衛を代表とする名も無き多くの人々の努力の結果として困難を極めた八木干拓は成し遂げられ、今も多くの人々の生活を支えていることに気付かせたい。

学習に当たっては、紙芝居形式で学習をまとめることで、調べたことの中でもどの場面を取り上げるかを考えさせ、重要なポイントを焦点化させたい。また、班活動にすることで、自分の考えを表現し合いながら、協力し合って学習活動が進められるようにしたい。

## 5 学習活動計画（13時間扱い 本時は第1次 第1時）

次	時	活 動 内 容	評 価 規 準（方法）
1 つかむ	1 (本時)	霞ヶ浦の高浜入りの写真を見ながら話し合い、学習問題を考える。	[思] 発言の内容やノートの記述内容から「霞ヶ浦の高浜入りの写真を見ながら八木干拓の様子を考え、学習問題を見だし表現できたか」を評価する。
	2	学習問題に基づいて、学習計画を立てる。	[思] 発言の内容やノートの記述内容から「羽成卯兵衛の業績についての学習計画を考え、具体的な計画を作成することができたか」を評価する。
2 調べる	3	なぜ、羽成卯兵衛は干拓をしようとしたのか調べる。	[技] ノートの記述内容から「副読本で、羽成卯兵衛が干拓しようと考えた八木地区の様子を調べ、人々の生活の様子や八木地区の地理的条件などを読み取ることができたか」を評価する。
	4 5	干拓工事は、どのように進められたのか調べる。	[知] 観察やノートの記述内容から「八木地区の干拓に当たっては、もっこやトロッコといった手動の道具を用い、内堤防作りから始めたことを理解しているか」を評価する。
	6 7	堤防づくりではどのような苦勞があったのか調べる。	[知] 観察やノートの記述内容から「本堤防を作るためのくい打ちの方法と、そのくいを打ち込むたびに繰り返し倒れてしまったことを理解しているか」を評価する。
	8 9	干拓の結果、人々の生活がどのようになったかを調べることで、羽成卯兵衛の業績の意味について考える。	[思] 発言の内容やノートの記述内容から「工事費用が当初予定の24万円を大幅に超過し45万円（現在の約8億円）に膨れ上がっても工事を続けた羽成卯兵衛の願いを、当時の人々の生活と関連付けて考え、適切に表現しているか」を評価する。
3 深める	10 11 12	羽成卯兵衛の足跡を、場面を考えて紙芝居にする。	[技] 紙芝居の内容から「羽成卯兵衛の足跡を説明するのに必要な場面に分け、収集した情報を基に適切にまとめているか」を評価する。 [関] 観察や紙芝居の内容から「私財を投げ打って八木干拓を行った羽成卯兵衛の働きに関心をもち進んで紙芝居にまとめようとしているか」を評価する。
	13	紙芝居を発表し合い、感想を交流する。	[思] 観察やノートの記述内容から「友だちが表現した羽成卯兵衛さんの働きの価値について、自分の考えと比較しながら感想を記述できたか」を評価する。 [関] 観察から「友だちの表現した羽成卯兵衛さんの働きについて、進んで意見交換をしようとしているか」を評価する。

6 本時の指導 (第1次 第1時)

(1) 目標 高浜入りの航空写真と醤油工場跡の写真から、八木干拓の様子を考え、学習問題を見だし適切に表現する。

- (2) 準備
- ・高浜入りの航空写真
  - ・醤油工場跡の写真
  - ・現在の高浜入りと明治時代の高浜入りの地図を比較できるプレゼン資料
  - ・モニター
  - ・パソコン

(3) 展開

時	児童の活動・内容	支援・評価 (※)
	<p>1 課題を確認する。</p> <p>2 枚の写真を見て、気付いたことについて話し合い、学習問題を考えよう。</p>	
3	<p>2 高浜入りの航空写真を見て話し合う。</p> <p>(1) 霞ヶ浦のまわりの様子で気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑や田んぼがたくさんある。</li> <li>・まわりに道路がある。</li> <li>・畑がきれいに並んでいる。</li> <li>・一カ所だけ直線のところがある。</li> </ul> <p>(2) 八木地区に注目して気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路のようにまっすぐになっている。</li> <li>・自然の湖岸線とはちがうようだ。</li> <li>・元々の湖岸線らしいものが見える。</li> </ul> <p>(3) 明治時代の地図と今の地図を比べて、気が付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湖岸線が変化しているところがある。</li> <li>・昔のまま変わらないところもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本に同じ写真があるので、それを見るように助言する。</li> <li>・全員が自分の意見を発言しやすいよう、最初に班の中で話し合いを行い、その後、全体で意見を交換することを説明する。</li> <li>・八木地区に関わらない意見も多数予想されるが、写真から読み取れることであればその価値を認めることで、表現しようとする意欲を伸ばすようにする。</li> <li>・児童から八木地区について意見が出ない場合には、写真から地理的特徴に気付くよう助言をする。</li> <li>・現在の航空写真 (google map) と明治時代初期から中期にかけて編集された「迅速測図」を、プレゼンテーションソフトを使って重ね合わせてみせることで、湖岸線の変化に気付かせる。</li> </ul>
18	<p>3 レンガ造りの煙突跡の写真を見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たことがある。</li> <li>・煙突のようだ。</li> <li>・何かの工場の跡だろう。</li> <li>・どうして無くなってしまったのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・干拓という用語について簡単に説明する。</li> <li>・一見、無関係に見える地域の遺構が、干拓に力を注いだ人物と深い関わりがあることを知り、八木干拓と自分たちの住む地域との関わりに気付かせる。</li> <li>・醤油工場の写真を見せ、八木干拓に力を注いだ人物が、醤油工場を営んでいたこと、私財を投げうって干拓を行ったことを、補足説明する。</li> </ul>
25	<p>4 八木干拓に力を注いだ羽成卯兵衛について副読本「いしおか」で調べ、醤油工場跡の写真との関係について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本から、八木干拓に力を注いだ人物として羽成卯兵衛が見付けられない児童には、机間指導をしながら助言をする。</li> <li>・キーワードを確認した上で、各自ノートに書かせることで、発表への不安を少なくする。</li> </ul>
33	<p>5 本単元の学習問題を考える。</p> <p>羽成卯兵衛さんはどうして八木干拓を始めたのか、また、どのような方法で干拓を行ったのだろうか。</p>	<p>※2枚の写真等から八木干拓の様子を考え、学習問題を見だし適切に表現しているか。</p> <p>(発言・ノート)</p>
40	<p>6 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りに書く内容項目を記した掲示物を提示し、焦点を絞った振り返りをさせる。</li> </ul>
45		